

標高500メートルの山のてっぺん。
世羅高原の畑から、
農薬、化学肥料を使わずに育てた採れたての野菜をお届けします。

暖冬、野菜が安いらしい

家計に優しくてうれしいです！ という声も確かにあるようですが、暦通りに寒くなって、暑くなって欲しい…というのが正直なところ。広島県の初雪は、過去最も遅い観測日(1935年1月□日)の記録を85年ぶりに更新中。1月末現在、まだ観測されていません。広島県内のスキー場には、雪不足の影響が出ています。

道路に雪が積もっていたり、路面が凍っていることもなく、もしかしたら、車のタイヤを冬用に交換しなくても大丈夫だったかも(?!?)と思ってしまうほど。季節の変化の予測が難しくなると、作付けを考えるのに頭を悩ませます。

はたけモノガタリ

20□年から、ジャガイモやサツマイモ、カボチャの作付けをやめ、その後、イノシシは畑に入らなくなっていたのですが、19日から土日を除いて28日まで、イノシシに畑に入られました。

初めは、どこから入っているのかがわかりませんでした。門が怪しいとわかってからは、溝に鉄筋を打って固定して通れないようにしたり、門を補強したりしたのですが、27日は、入口の門を閉めるのに使っていたカラビナをくくっていた針金が、押し伸ばして外されていました。

イノシシとの戦いには、今日は何をしてくれるか…と、心のどこかで少しワクワクしていたところがあったのですが、しっかりねじってあった針金が、ペンチも使わずに力で外されていたのには、「おみごと！ 敵ながらあっぱれ！」さすがにその次の日には、ワクワク感はありませんでしたが…。

〈2月の野菜〉

□露地の畑では、白菜、人参、ネギ、辛味大根、大浦太ゴボウ、パースニップ、キクイモなどが収穫中。

□ハウスの中では、小松菜や水菜、ホウレン草、赤茎ホウレンソウ、わさび菜、リアスからし菜、赤リアスからし菜、ロケット、ラディッシュ、小カブ、ミニ大根、赤大根、紅心大根、黒丸大根などが収穫中です。

サトイモは、保存穴の中に保存しているものを出荷しています。

- ・答え：16日。平年の観測日は12月11日。
- ・答え：2018年から。2016、2017年と、イノシシの食害がひどかったです。

※山本ファミリー農園の日々の様子は、フェイスブックで！



〈1月15日、畑に初雪〉

雪に覆われることの多いこの時期ですが、畑にうっすらと雪が積もったのは、この日と31日のみ。



〈イノシシに、畑の入り口の門が狙われました〉

門の下の溝を崩して掘り広げ、門を押し上げて入ったようです。溝には石を並べ、門は持ち上がらないように金具で固定し、手前には近づけないようにワイヤーメッシュをおきました。毎朝、人間が入るのがとても大変です！



〈ヤサイソウムシの幼虫、中心に向かって食べ進む〉

収穫した白菜の葉を、表から数枚むくと現れるヤサイソウムシの幼虫。もぐもぐと中心に向かって食べ進んでいます。なので、白菜、どんどん小さくなります。